

カウンセリング論

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 助教		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
担当教員	藤澤 美穂 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

カウンセリングとは、カウンセラー（治療者）・相談者（患者、クライアント）間の心理的交流を通して、相談者の悩みや問題の解決を図る援助技法である。相手の話によく耳を傾け、信頼関係を築きながら治療的関わりをおこなうことは、対人援助職の基本姿勢であることがいえよう。カウンセリングや心理療法は、臨床心理学領域において発展した技法であるが、医療とも関係が深い分野である。臨床心理学的知見に基づいた人間理解は、相手との関係をよりよいものにするだけでなく、自身のメンタルヘルスを良好に維持するためにも有用な視点といえる。

本科目においては、カウンセリングの基本的事項を臨床心理学の立場から理解することを大きな目標とする。そして、カウンセラーに必要な態度を学ぶことを通して、医療人として生きていく上で重要な“相手を尊重し、自分も大切にすること”について、自分なりの気づきを得るための一助となることを目指す。

・教育成果（アウトカム）

1. 臨床心理学領域にて発展したカウンセリングについて理解することを通し、対人理解・対人援助に関する基本的な知識と態度を修得し、相手の立場に立った援助ができるようになる。
2. 他者との信頼関係や他者配慮的態度について学ぶことを通し、チーム医療に寄与できるコミュニケーション能力を身につけ、実践することができる。
3. ストレスマネジメント概念を理解することで、自身のメンタルヘルスの保持増進のため必要な行動をとることができる。

・到達目標（SBO）

1. カウンセリングの基本的な特徴を説明できる。
2. カウンセラーに必要な態度について、説明できる。

3. カウンセリング技法に基づいた援助方法について理解する。
4. こころの不調の顕れとそれへの援助・対処について、臨床心理学的視野から理解する。
5. ストレスマネジメントとセルフケアの重要性について理解し、説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 101 1-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/7	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングと臨床心理学 カウンセリングに必要な条件 臨床心理学的面接としてのカウンセリングの定義と実践領域について理解する
9/14	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセラーの態度 カウンセリングにおける倫理について学ぶ
9/28	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	対人援助職の態度 対人援助職の求められる態度について、カウンセリング技法に基づき、理解する
10/19	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングとアセスメント (1) 心理アセスメントの概要を理解する
10/26	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングとアセスメント (2) 心理アセスメントのために必要な情報について学ぶ
11/2	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングの諸学派(1) 精神分析 精神分析の歴史と今日までの発展を理解する
11/9	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングの諸学派(2) 表現療法 非言語的アプローチである表現療法について理解する
11/16	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングの諸学派(3) 認知行動療法 認知行動療法の理論と技法について学ぶ

11/30	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングの諸学派（４）家族療法、家族心理教育 家族を first client とする関わりと、家族心理教育について学ぶ
12/7	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	トラウマティックストレスの理解 心理的危機とストレス反応について理解する
12/14	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	クライアントとのコミュニケーション：ワーク（１） クライアントの話をよく聴くとはどういうことか、ワークを通して理解する
12/21	月	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	クライアントとのコミュニケーション：ワーク（２） クライアントからの問いかけへの応答について、カウンセリングの観点に基づいた対応を、ワークを通し理解する
12/21	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	ストレスマネジメント 心理的ストレスプロセスモデルについて理解する
1/8	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	ストレスのセルフケア、まとめ ストレスコーピングを理解することを通し、ストレスへのセルフケアについて学ぶ

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	カウンセリング概説・改訂版	馬場謙一・橘玲子	放送大学教育振興会	2005
参	カウンセリングの技法	國分康孝	誠信書房	1979

・成績評価方法

試験の成績を 60%、授業にて課すワークへの取り組み（態度・内容）を 40%として評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・特記事項・その他

予習・復習のポイント

授業において次週の内容として示された箇所を、教科書を中心に予習をすること。

復習については、ノートを中心に、興味がある箇所は図書館の文献などで調べること。

授業で紹介する書籍や論文、DVD などは、心理学分野研究室にもそろっていますので、積極的に研究室を訪問してください。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (MacBook Air MD711J/A)	1	講義資料の提示
講義	プロジェクター	1	講義資料・教材の提示
講義	DVD(BR)プレーヤー	1	教材の提示
講義	書画カメラ	1	教材の提示
講義	デスクトップ PC (iMac21.5 ZOMP CTO Education)	1	講義資料の作成